リリカラ株式会社
2025 年 5 月

壁紙施工要領書
- 一般ビニル壁紙 -

■特長

・一般的な塩化ビニル樹脂系壁紙です。
・冬期など低温時には壁紙が硬くなり、施工しにくくなる傾向があります。状況に合わせて接着剤の配合やうませ時間を調整したり、部屋を暖めるなどの配慮をお願いします。

■下地調整

・下地は平滑に仕上げてください。
・モルタル下地や木質下地には、アクによる変色やフクレを防ぐため、必ずシーラー処理を行なってください。
・貼替え時には、下地面に残った残紙を剥がしてください。

■接着剤と養生・オープンタイム

・接着剤は下地や環境に応じて、適切なものを選んでください。
・接着剤塗布後は、大きくたたみ、上積みは避けてください。折りたたみ部分に糊だまりができ、仕上りに影響する場合があります。
・長時間つけ置きをする場合は、乾燥しにくいビニル袋等に入れ養生してください。
・接着剤を塗布した後、必要以上にオープンタイムを取ると乾燥し、相ハギなどが発生して施工不良の原因となる恐れがあります。

■貼付け

・見本帳等に記載ある有効巾で施工をしてください。
・カッターの刃先は鋭い状態を保ち、下地ボードの表面を切り込まないように下敷きテープを入れて施工してください。
・壁紙のジョイントは耳同士でジョイントしてください。巾落としによる耳と耳以外のジョイントの場合、左右色違いの原因となります。
・ジョイントのローラー処理は、エンボスつぶれや表面のツヤの変化が発生するため、必要以上に強く押さえないようにしてください。

■施工後

・接着剤が壁紙表面に付着した場合は、すぐにきれいな水を使用し濡れスポンジ等で丁寧に拭き取り、更にきれいなタオル等で乾拭きしてください。糊や汚れが付着したまま放置すると、カビや変色の原因になります。
・施工後は、接着剤が安定するまで自然乾燥させてください。その間、冷暖房を強くかけ過ぎないようにお願いします。急速に乾燥させると剥がれ・めくれなどの原因になります。